

# ■資材輸送遅れ 五輪向け工事に影響

宅配便問題で露呈した運転手不足が、東京五輪関連や都市再開発など最盛期を迎える建設工事にも波及している。鋼材や生コンクリートといった建築資材を運ぶ運転手が足りず、モノが工事現場に届かず工事遅れも一部で出始めた。輸送には技術も必要で人手確保は容易ではない。

「トレーラーやトラックの配送の調整が難しく、現場に時間通りに出荷するのに苦労している」。千葉県浦安市にある鋼材問屋や加工会社が集まる鉄鋼団地で、形鋼会社の経営者はぼやく。東京・銀座周辺のホテル建設案件に柱や補強材用の鋼材を供給している。

2020年の東京五輪前の開業をにらんだ案件だけに、「鋼材の納入が遅れば工期に響きかねない」と懸念する。

鋼材は午前中の現場作業にあわせて未明や早朝

## 運転手不足 建設現場にも



鋼材輸送の担い手が少なくなっている (千葉県浦安市)

に届ける。鋼材を積んだトレーラーやトラックは、市内では道路上で待てる場所が少ない。現場内の鋼材置き場も限られるため、使う少し前を狙って届けるのが基本だ。従来は運送会社に依頼すると遅滞なく出荷できたが、18年半ばからは希望の時間に車両がそろわない事例が増えた。

賃上げしたが…

運輸業界での人手不足への認識は17年から広がった。宅配分野を中心に配達時間や配達料金の見直しが増えている。特に鋼材ドライバーは「宅配便や貨物輸送便より賃上げしたが、でも採れない状況は18年から深刻に。18年12月の求人数は3年前に比べ3・8倍になった。」

「宅配便や貨物輸送便より賃上げしたが、でも採れない状況は18年から深刻に。18年12月の求人数は3年前に比べ3・8倍になった。」

「宅配便や貨物輸送便より賃上げしたが、でも採れない状況は18年から深刻に。18年12月の求人数は3年前に比べ3・8倍になった。」

## 特殊技能必須 育成に時間

り運転手が集めにくく育成にも時間がかかる」と共立輸送(東京・江東)の三村文雄顧問は指摘する。隙間の多い鋼管やH形鋼などを安全に運んで積み下ろしするノウハウの習得がいる。トレーラーなら免許も必要だ。若い人は敬遠しがちで運転手の高齢化も進む。

新日鉄住金のH形鋼などを扱う流通事業者の会社「ときわ会」では「輸送も含む供給の課題で建設案件全体の工事着手が遅れ需要がずれ込んでいく。この声が増えている。日本鉄鋼連盟は19年度の建設向け需要は公共投資拡大で前年度比微増とみる。厳しい環境は続く。」

運転手不足は生コンクリートを運ぶミキサー車も例外ではない。首都圏再開発や五輪向け工事が最盛期を迎え、需要が大きく拡大。東京都心の生コンメーカーが加入する

## 真相深層

協同組合(東京・中央)では18年11月の出荷量が33万9千立方メートルと前年同月に比べ11%増えた。17年末時点での月間運搬能力は32万7千立方メートル。水準は上限を超えており、輸送が追いつかない。

定期契約する運送会社や生コンメーカー自身の運転手が都バスなど他業界に次々転職。運転手の確保へ賃上げした運送会社からは10~15%の値上げを求められている。同協組の斎藤昇一理事長は「賃金を上げたところで人手不足が解消する状況ではない」と焦る。

ゼネコンも一因

ゼネコンによる納期予定の変更も輸送力不足に拍車をかける。納入直前に予定を変える「変更率」は18年上期で17・7%。15年の12%程度から大きく上昇。職人や部材不足が理由で現場での工程遅れが発生、生コンを枠に

流し込む打設の変更や見込みの発注が増えたためだ。同協組はゼネコンに直前の変更を控えるよう要請中だが、事態はむしろ悪化。新国立競技場や選手村向けには一部で納入遅れも生じている。

年末や年度末に案件が増える道路工事。敷設や補強に欠かせないアスファルトも運転手が足りない。製油所からタンクローリーで建設会社に運ぶが、燃料商社の担当者は「人手不足で零細の運送会社が次々倒産している。今後都心でも人繰りが一段と大変になる」と不安げだ。「ローリー車は片荷で効率が悪い。運転手がどんどん宅配に流れていく」(関東圏の輸送会社)。建設工事需要は高水準が続くが、一部の資材の搬送遅れが工期全体を狂わす。現場はそんな綱渡り状態にある。(岡森章男、大鐘進之祐、南畑竜太)